

いきいき  
まえばし人

テイクアウト情報サイトマエテク開設  
青柳美保さん・51歳  
三俣町



生まれ育った前橋で、  
頑張る人を支えたい

新型コロナウイルス感染症の影響で通常の営業が難しくなった飲食店を支えようと、青柳さんは飲食業に携わる仲間と共にテイクアウト情報サイト、マエテクを開設した。

「何かできることはないかと考え、思い立った翌日に仲間と開設しました。お店の人たちが声を掛け合う雰囲気、昔のまちなかを思い出します」

まちなかで生まれ育った青柳さん。困難な状況でも支え合うまちの人々に、改めて前橋の魅力を感じるという。

「マエテクは小さなお店が協力し合っています。そこに交通の面で行政のサポートが入ることに。これは他のまち

ではあまり無い動き。人と密になつてはいけない今だけでなく、人とのつながりを強く感じています」

飲食業のほか、司会業やラジオパーソナリティ、子ども食堂、本紙の音訳など幅広く活動する青柳さん。マエテクの運営をはじめ、ボランティアの活動も多い。

「頑張る人を応援するのが好き。前橋で頑張っている人をみんなに知ってもらいたいし、これからの世代にも前橋の良さを味わってほしいな」

自分は支えられて活動ができていると話す青柳さん。支え、支えられ、前橋のまちを動かしている。

都市部から前橋へ生活を移し、市内各所で活動する地域おこし協力隊。このコーナーでは、隊員が交代で日ごろの活動を紹介します。今回は中心市街地で活動する三橋一仁隊員です。

中心市街地についてどのようなイメージを持っていますか。不便、人がいない、刺激がない。ネガティブな答えが返ってきてそうな気がします。私も東京にいる時は、つまらない場所だと思っていました。

しかし、本当にそうでしょうか。この街のためにアクションを起こす企業や商店街の店主、今まで知らなかったお店、熱い想いを持った若者。こういった存在を知り、私の考えは誤りだ



にぎわいを生み出す店舗オープンに向け準備中です



着物専門店・小川屋さんと企画した伝承展



にぎわい商業課  
☎027・2110・2188

と気付きました。同時に、各個人が主体的に中心街に関わることで街は良くなることも分かりました。

私は「前橋まちなかエージェンシー」の一員としてめぶくフェスの運営などを行っています。今後は皆さんを満足させられる、目に見えて分かる変化を起こしたいです。具体的には実店舗をオープンさせ街に寄与し続けること。その店を起点に、志のあるプレイヤーが店を出してくれたら、きっと面白いことになる。と信じて活動していきます。

前橋市管内の新型コロナウイルス感染症患者はこれまで4人  
PCR検査を実施しています

☎保健予防課 ☎027-220-5779

本市のPCR検査の実施件数は、5月8日時点で567件。新型コロナウイルス感染症患者の確認数は4人です。発生状況は本市ホームページに掲載しています。風邪の症状や発熱、強いだるさ、息苦しさを感じた場合は帰国者・接触者相談センター（8時30分～

21時は☎027-220-1151、それ以外の時間で緊急の場合は☎027-224-1111（市役所当直経由で保健予防課職員が対応）に相談してください。



たくさんの寄付に感謝します  
マスクなどを各所に配布

新型コロナウイルス感染症対策のために寄付をいただいたマスクと、本市が購入し備蓄していたマスクを右表のとおり配布しています。この他、帰国者・接触者外来には、ガウン、N95マスク、消毒用エタノールなどの医療物資も配布しています。

マスクの配布先	配布数量
医療機関 (帰国者・接触者外来、その他の病院や診療所など)	約12万6,000枚
福祉施設 (保育施設、放課後児童クラブ、高齢者福祉施設、障害者施設など)	約9万3,000枚
学校関係 (新小1、児童生徒など)	約1万3,000枚

合計 約23万2,000枚（4月30日現在）

便利に使えるマイナンバーカード

☎マイナンバーカード取得については市民課 ☎027-898-6172  
マイナポイントについては未来の芽創造課 ☎027-898-6427

特別定額給付金のオンライン申請や今夏に予定しているマイナポイント事業(※)にも活用できるマイナンバーカードは、オンラインか郵送で申請が可能。市役所1階や郵便局で申請支援も実施しています。

※キャッシュレスでチャージか買い物をするすると25%のポイントを付与(上限5,000円)



申請について詳しくはこちらから

